

国宝延暦寺根本中堂

および重要文化財延暦寺根本中堂廻廊 保存修理工事 現場見学会



根本中堂の屋根の
ちゃん塗の施工の様子

令和8年

10月12日 月・祝

①10：00～11：00

②11：15～12：30

③13：30～14：45

④15：00～16：00

今回の見学会では、主に屋根のちゃん塗の施工を工事用足場から間近に見学していただくとともに、修理技術者による建物についての説明を予定しています。

※ちゃん塗：荏油・桐油・松脂を煮詰めてつくる「ちゃん油」と、顔料を混ぜ合わせた塗料で塗る技法

定員：いずれの回もどなたでも申し込いただけますが、②③の回は優先の対象者がございます。

①40名

②30名（主に高校生・大学生を対象とした内容・体験を行う回で、対象の申込者を優先します。）

③24名（主に小学生・中学生を対象とした内容・体験を行う回で、対象の申込者を優先します。）

④40名

参加方法：

○事前申込抽選制（申込〆切：10月6日（火）23時59分、抽選結果通知：10月7日（水））

（予約に空きがあれば当日参加可とします。）

滋賀県HPのしがネット受付サービスから下記の回答してお申し込みください。

- ・参加希望回（①～④のうち一つ）
- ・②③に参加希望の方で、学生の方の区分（小学生、中学生、高校生、大学生）
- ・参加する方全員分の氏名、連絡先（電話番号とメールアドレス）、住所（市区町村まで）

国宝延暦寺根本中堂および重要文化財延暦寺根本中堂廻廊保存修理事業について



▲修理前の根本中堂および廻廊（正側面全景（南東面））

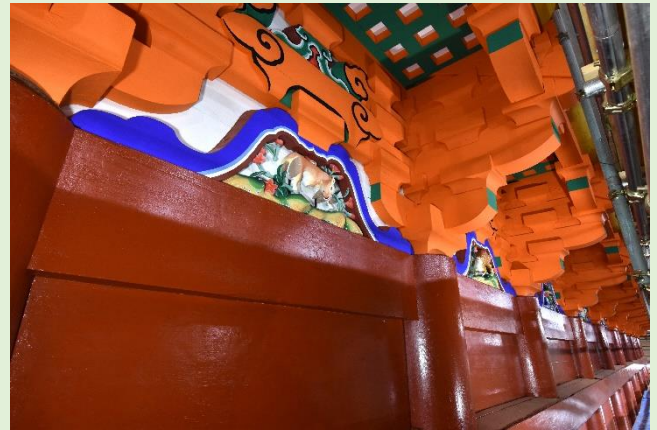
根本中堂は、建立後6回の大修理が行われました。昭和30年(1955)に行われた前回修理から約60年が経過しており、屋根葺材の破損や塗装の劣化、木部の腐朽が見られたことから、平成28年(2016)から保存修理事業を実施しています。

現在まで、根本中堂の屋根銅板葺きや廻廊の棚葺きの葺き替え、根本中堂と廻廊の外部の塗装や臺股等の彩色の塗り直し、根本中堂の柱の根継ぎ等の修理を実施してきました。

今回の保存修理事業は、事業全体を県が受託し、国や県、市の補助事業として実施しています。

延暦寺は、比叡山東麓のまち坂本で生まれた最澄（のちの伝教大師）によって開創されました。最澄は自ら薬師如来を刻み、延暦7年(788)に一乗止観院を建立して安置しました。弘安14年(823)、嵯峨天皇より開創時の年号を賜って延暦寺と称するようになり、一乗止観院を根本中堂と改称しました。比叡山は、日本の主要な仏教宗派の祖師の多くが学び、仏教の教えの多くが生まれたことから、日本仏教の母山と呼ばれています。

現在の根本中堂は寛永19年(1642)に再建された、江戸初期を代表する建造物です。



▲根本中堂外部の塗装、臺股の彩色が完了した状況

《見学会に関する注意事項》

- 見学会の参加は無料です。ただし、入山料が必要です。
 - 会場：滋賀県大津市坂本本町4220 延暦寺根本中堂（東塔地区）
 - 自家用車の方は、延暦寺参拝者駐車場をご利用ください。
- 公共交通機関
- 京都駅(JR等)・三条駅(京阪電鉄等)→比叡山ドライブバス
 - 比叡山坂本駅(JR)・坂本比叡山口駅(京阪電鉄)→坂本ケーブル
 - 八瀬比叡山口駅(叡山電鉄)→叡山ケーブル→叡山ロープウェイ→比叡山シャトルバス
- 修理現場内では、係員の指示に従ってください。
 - 修理現場の見学ルートには、階段・傾斜面がありますので、動きやすい服装・履物でご来場ください。
 - 見学時には、現場で用意するヘルメットの着用をお願いします。
 - 工事現場内での見学のため、安全上の理由により、見学をお断りすることがございます。
 - 酒気帯びでの入場はお断りします。
 - 乳幼児等、ご自身での歩行が困難な方、ヘルメットの着用が困難な方の見学はご遠慮いただいております。
 - 荒天等により当日に中止する場合がありますので、ご了承願います。当日7時の天候により判断し、中止の場合は申込時のメールアドレスに連絡いたします。
 - 問合せ先

滋賀県 観光文化スポーツ部 文化財保護課 建造物第二係
〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号
メール kenzou-2@pref.shiga.lg.jp
電話 077-528-4673

